





ラルドは強い魔力を持つ病弱な男の子。
そんな弟を助けるため、兄さんと姉さんは医学を学び、
ラルドを元気にしようと努力します。
ラルドは幸せでした。

しかしある日、ラルドの魔法の力が暴走し、
兄さんと姉さんを殺してしまいます。

ラルドの暴走した力はラルド自身も飲み込みました。
気付くとラルドの体は大人になっており、
そればかりか、時の流れも混沌とし、
まだ兄さんと姉さんが生きている過去に戻りました。もちろん、幼いラルドも存在していました。
。



大人になったラルドは、兄さんと姉さんを救うため、
幼い自分を殺す決意をしました……………

大人になったラルドは散歩中の幼い自分を見つけ出し、呼び止めました。



幼い自分が振り返り、用件を尋ねてくると、大人になったラルドは手から氷柱をつくりだし、幼い自分へ向けて放ちました。ところが、ラルドの親友のフェイトが駆けつけ、幼い自分を突き飛ばし、氷柱は地面で砕けました。



逃げるんだ！！

そう、フェイトが叫ぶと、

幼い自分と親友の2人は振り返りもせず、走って逃げていきました。

大切な皆

それから、ラルドは何度も何度も、幼い自分を殺そうと試みました。
ところが、

ある日は知り合いの皆……、



ある日は家族の皆……、



ある日は親友の皆……、



ラルドの大切な皆が、幼い自分を助けようと邪魔をします。

ラルドは、自分がいかに皆に助けられて生きていたかを思い知りました。

そして、とても悲しくなりました。

皆が今の自分を見る目は、とても厳しいもので、皆にとって今の自分は敵なのでした。

しかしラルドは、大切な皆をまもる為、幼い自分を殺さなければならないと、強く、強く思いました。

親友達は知っていた

失敗が続く毎日でした。

しかし、ある日、親友のフィーレがラルドの前に現れました。



フィーレはラルドじっとを見つめ、
そして、
ラルドをそっと抱きしめました。